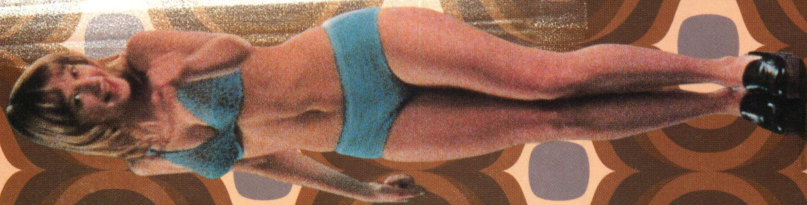


より多く愛するものは、常に敗者となる



a film by
François Ozon
**Gouttes
d'eau sur
pierres
brûlantes**

with
Bernard Giraudeau
Melik Zidi
Ludvine Sagnier
Anna Thomsson

焼け石に水

R・W・ファスビンダー原作

フランソワ・オゾン監督作品(『海をみる』『ホームドラマ』『クリミナル・ラグーンズ』)

出演:ベルナール・ジロドー(『リヂェキョール』)、マリカ・ジディ(『ワンダー・ムス』)、リュディヴィヌ・サニエ(『地下の02』)、アンナ・トムソン(『ファストフード・ファスト・ローマ』)

挿入曲:フランソワーズ・アルディ(『夢』)、トニー・ホリデイ(『ぼくとサンバを踊ろう』) 2000年ベルリン国際映画祭最優秀作品

2000年/フランス映画/カラー/1時間30分/1:1.66/ドルビーSRD 配給:ユニーロスペース <http://www.eurospace.co.jp>

焼け石に水

R・W・フランスター原作
フランク・オノン監督作品

出演：ベルナール・ジロー / リリケ・ジエリ / リュチエリエ・ネ・サエ / アンナ・トロン
挿入曲：フランク・オノールの「夢」 / トニー・ホリチ「ぼくとサンバを踊ろう」

2000年ベルリン国際映画祭チリ2000賞受賞作品
2000年 / フランス映画 / カラー / 1時間30分 / 1.1.66 / フルビ-SRD
監録：エロス・ペーエ

Gouttes d'eau sur pierres brûlantes

Pacific Furniture Service / 石川容平さん (フレンチ・ジョイント・オーナー)



圧倒的な辞念は悲劇をシニカルな喜劇に変える。
この作品は不感症の為の唯一のポルノグラフィです。
脚本：野ばらさん (作編)

アメリカ映画やアジア映画とは全く違う
アキカガリスエキ・ペドロ・アルモドバルに続く、
時代の意識を色彩で表現できる
ヨーロッパ伝統のゲイズユアル映画！
ヨーロッパ伝統のゲイズユアル映画！

憎しみなく愛は奪う

より多く愛するものは常に敗者となる…。無垢なる海に広がっていく、タールのようにとす黒い、愛の残忍性。19歳にして「焼け石に水」の原作となる戯曲を書いたフランスビクターのその孤独と狂気を、フランク・オノンは正面から描き切ることに成功した。

フランク・オノン。まだ30代前半であるにもかかわらず「海をみる」「ホームドラマ」「クリミナル・ラガーズ」を立て続けに才気走った作品を発表。現在長篇4作目「砂の丘」(原題/シーロー・オノン/フランク・オノン)が19日に大ヒット公開中。5作目も完成直前と、オノンのエネルギーがますます快進撃は止まる気配がない。ダイオの視点の強調、キヤンキョキキョキと題味、バドテイクスやフランク・オノンの偏愛とフランス映画では異色な作家性と物議を醸す話題性で「フランス映画新世代のトップランナー」の評価はすでに衆目の一致すること。

長篇3作目の「焼け石に水」は、36才で急逝したドイトの伝説的な映画・演劇人R・W・フランスビクター(1946-82)が19才で書いた未発表の戯曲が原作。敬愛するフランスビクターへのトリビュートとして、彼が生きた70年代ドイトの雰囲気やシブブルなインテリヤや小道具で表現した。

キヤンキョキもベテランと新人を組ませた異色の取り合せ。なかでもアメリカ・インディペンデント映画界のカリスマ女優アンナ・トロン(「フランク・オノールの」が性転換した元男性を演じる)はいかにもオノンらしい人選だ。

ベルリン映画祭でチヤイ賞(最優秀男優賞)を受賞。ジョン・ウオーターズも絶賛!

これまでのオノン映画と一味違う要素を持つ意欲作となった「焼け石に水」は、結果として、彼の長篇3作中で最も高い評価と幅広い成功を得ることになった。

オノンが仰ぐ“悪趣味の達人”ジョン・ウオーターズ監督も、2000年度ベスト10映画に「焼け石に水」(クリミナル・ラガーズ)と2本もオノン作品を選出(「アトホーン」が2000年12月号)。「焼け石に水」については「僕の新しいお気に入りフランク・オノの家が監督したフェイク・フランスビクター映画。これほど映画的に正しいネクロロリヤ(死体愛)はないね」と絶賛。死後20年近くになる作家の、上演も映画化もされなかった原作をその作家のスタイルと精神で映画化した点を高く評価した。

オゾンのテキストのフランスビクターワールド

これまでオリジナル脚本を書いていたオノンが今回フランスビクターの原作を使ったのは、彼へのトリビュートとどかに、カッパルの生活を描いてみたかった彼が、まさに描きたいことがそこに正確に語られていたからだった。ダイカヘトロを問わず、二人の人間が一緒に暮し、日常の荒波にままれるところから次第に愛質し失墜していく関係性。「クリミナル・ラガーズ」の後、自らの体験をもとに書き始めてみたものの、うまく距離を取れぬまま中断し、数年前に舞台上で見たこの戯曲を思い出したのだという。

完璧なるキヤンキョキ

キヤンキョキは予想外の組み合わせ。中年とジネスマン、レオボルドに二枚目ベテラン俳優ベルナール・ジロー。端正な顔立ちの名優として舞台・映画で活躍、「ヘカチ」や「リヂェキエール」が印象深い。彼の性の厚となる相手役の若者フランクは「オノンの思っままに振られた」という新人マリケ・ジエリ(「フレンチ・ジョイント」の3番から登場するフランクのガールフレンド、アチは「年下のひと」)「フランクへの贈り物」リュチエリ・サエ。あといけない顔だが出演シーンはほとんど裸か下着姿で、彼女を知る観客の度胆を抜いた。レオボルドの別れた女性で性転換者のヴェラには「アモス・ユツク監督「フランク・オノールの」で一躍注目のアチ・トロン。今回のヴェラの経歴でインディペンデント界の女王の貫録をみせている。



STORY

70年代、ドイト。20歳の青年フランクは、街中で中年とジネスマン、レオボルドに声を掛けられ彼の家を訪ねる。そこで彼はレオボルドの不思議な魅力にとられ、二人はベッドを共にする。やがてフランクはどろどろしないほどに、レオを愛し始める。しかし二人の蜜月は長くは続かなかった。生活を共にすることで、レオの奇立ちが募っていたのだ。二人の愛は被疑を埋えようとしていた。

しかし、ある日二人のそれぞれの昔のガールフレンドが現れたことにより、関係性は別れ、しかし悲劇的な方向へ向かって転がりますのだから…。



オゾンの最新作にして最高傑作、待望の上映決定!

9/18(sat)～27(fri)

1:05 2:55 4:45 6:35

HEREI

ホワイエ劇場の広場・10台とびる集々15分
扇町三コーゾウの映画

06-6361-0088 WWW.oms.jp